



彩の国杯全中選抜大会 1年生女子形優勝 川本愛桜選手（千葉）

日時：2021年3月29日（月）

会場：長野県立武道館（長野県佐久市）



春の中学生日本一を決める「JOC ジュニアオリンピックカップ 彩の国杯第15回全国中学生空手道選抜大会」が開催されました。昨年は中止となったこの大会は、新型コロナウイルス感染防止の観点から埼玉県から長野県へ会場を移しての開催となりました。

剛柔会からは1年生女子形にて、川本^{まお}愛桜選手（千葉県旭市立第二中学校・剛柔流国際勝正館）が優勝されました。川本選手は先に空手道を始めていた弟の稽古の付添で道場に行った時に興味を持ち、小学1年生の1月に千葉県^{そうさ}匝瑳市の国際勝正館（石原克一館長）の道場へ入門。

半年後、初めての市民大会に参加し、初級の形での優勝がきっかけで空手が好きになり、一生懸命稽古に取り組んだといいます。そして各大会に出場しましたが、ライバルに勝てない時期が続きました。それでも、道場の稽古に進んで出向き、先生方の指導を受け、また自宅でも自主練に励みました。その

後も市民大会に出場を続け、優勝を目指し奮闘の日々を続けた結果、小学4年生の時には千葉県予選で優勝、続けて5年生、6年生で関東少年少女空手道選手権大会にて優勝と頭角を現し始めました。

中学校に進学後、コロナ自粛等で道場へ稽古に行けず、自主練の日々が続きモチベーションも下がってしまい、空手を離れようと思ったこともあったそうですが、周囲の応援もあり練習を継続、昨年11月に千葉県予選において優勝し彩の国杯の代表選手に選ばれました。

先生や友人の支え、家族に見守られてトレーニングに邁進した結果、今回の日本一につながりました。川本選手は今回の優勝を「師範や友人の応援、家族のサポートに感謝の気持ちです」と話してくれました。なお、大会での総合得点で争う都道府県対抗では、女子は川本選手の活躍もあり、千葉県が優勝しました。また、川本選手は今回の優勝で全日本ジュニアナショナル強化選手（カデット女子形）に選出されました。

今後も精進し続けて稽古に励んでください。優勝おめでとうございます！



決勝戦での壱百零八手（スーパーリンペイ）。



表彰式後の記念撮影で笑顔を見せる川本選手。

GOJUKAI CALEDAR

〒170-0013
東京都豊島区東池袋2-21-6-808 剛柔会事務局
TEL/FAX 03-5951-1165

■ 2021年8月7日（土）・8日（日） 第47回全国空手道選手権大会／エディオンアリーナ大阪（大阪府立体育会館）